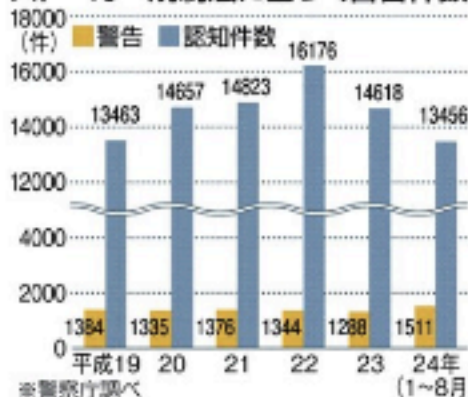


ストーカー被害の認知件数と
ストーカー規制法に基づく警告件数



警察にストーカー被害を相談していながら、命を奪われる事件がまたも起きた。神奈川県逗子市の三好梨絵さん(当時33)が今年6月、元交際相手の男に刺殺された事件。なぜ警察は被害を防げなかったのか。12年前に施行され、被害を防ぐはずのストーカー規

制法に警察自らが縛られるなど、いくつかの要因が浮かび上がっている。
(西尾美穂子)



きょうのテーマ「ストーカー殺人と警察」

全国で起きた主なストーカー殺人事件と警察の対応

平成11年2月 兵庫県太子町
元交際相手の男につきまとわれたり、暴力をふるわれたりしたなどとして警察に相談していた尾ノ井由加子さん(当時20)が男に車を正面衝突され、殺された。警察は示談を勧め、捜査をしなかったとして問題になった

11年10月 埼玉県桶川市
猪野詩織さん(当時21)が、元交際相手らに刺殺された。猪野さんが告訴状を提出していたにもかかわらず、警察が怠慢な捜査をしていたとして問題になった

23年12月 長崎県西海市
ストーカー被害にあった女性の母親(当時56)と祖母(当時77)が、女性の元交際相手に刺殺された。女性らが長崎、三重、千葉の3県警に相談していたにもかかわらず、対応をたらい回しにしていたほか、千葉県警の捜査員が旅行のため、被害届の受理を先送りしていたとして問題になった

24年11月 神奈川県逗子市
三好梨絵さん(当時33)が元交際相手に刺殺された。男が脅迫容疑で昨年6月に逮捕された際に、警察が三好さんの結婚後の住所の一部や名字を読み上げたとしていた

「どうしてまた犠牲者が出てしまったのか」。平成11年10月に埼玉県桶川市で、元交際相手らに刺殺された三好さん(当時21)を殺害された三好さん(29)は三好さんの事件をテレビで知り、愕然とした。猪野さんは警察にストーカー被害の相談をしても、「軽微な犯罪」として真摯に受け止められず、その後殺害された。その「命」を代償として、12年11月に施行された「ストーカー規制法」がありながら、過去の事件と同様、最悪の結果になってしまった。

三好さんの事件では、元交際相手の男が脅迫罪で執行猶予付

ストーカー被害の相談窓口

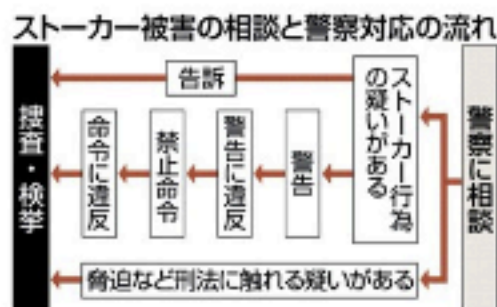
「メールは対象外」
「どうしてまた犠牲者が出てしまったのか」。平成11年10月に埼玉県桶川市で、元交際相手らに刺殺された三好さん(当時21)を殺害された三好さん(29)は三好さんの事件をテレビで知り、愕然とした。猪野さんは警察にストーカー被害の相談をしても、「軽微な犯罪」として真摯に受け止められず、その後殺害された。その「命」を代償として、12年11月に施行された「ストーカー規制法」がありながら、過去の事件と同様、最悪の結果になってしまった。

「命」を代償として、12年11月に施行された「ストーカー規制法」がありながら、過去の事件と同様、最悪の結果になってしまった。

自縄自縛の規制法

「メールは対象外」
「どうしてまた犠牲者が出てしまったのか」。平成11年10月に埼玉県桶川市で、元交際相手らに刺殺された三好さん(当時21)を殺害された三好さん(29)は三好さんの事件をテレビで知り、愕然とした。猪野さんは警察にストーカー被害の相談をしても、「軽微な犯罪」として真摯に受け止められず、その後殺害された。その「命」を代償として、12年11月に施行された「ストーカー規制法」がありながら、過去の事件と同様、最悪の結果になってしまった。

「命」を代償として、12年11月に施行された「ストーカー規制法」がありながら、過去の事件と同様、最悪の結果になってしまった。



逗子の事件「慎重な対応必要だった」

ストーカー殺人が起ころた三好さんの結婚後の名前などを伝

「命」を代償として、12年11月に施行された「ストーカー規制法」がありながら、過去の事件と同様、最悪の結果になってしまった。

ニュースの窓口
社会部 Eメール news@sankei.co.jp
社会部 FAX 03・3275・8750

テーマを募集

世間の関心を集めるテーマを深掘りし、大胆に読み解く「深・真・斜」読み」を日曜日に掲載していきます。取り上げてほしいテーマがあれば、「ニュースの窓口」にお寄せください。